



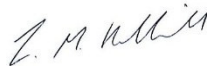

サハリンⅡ(フェーズ2)プロジェクト  
PA-B プラットフォームの  
環境監査

サハリンⅡ (フェーズ2) プロジェクトのファイナンス関係者へのレポート

作成者：  
**ENVIRON**  
マンチェスター、英国

日付  
**2011年12月**

プロジェクト/発行 No. :  
**UK22-17081**

契約／提案書 No. :	UK22-17081
版 :	2
著作者	Chris Halliwell クリス・ハリウエル
(署名)	
プロジェクト管理者／取締役	Jon Hancox ジョン・ハンコック
(署名)	
日付	2011年12月21日

この報告書は、ENVIRON によって作成され、その際、妥当なスキル、配慮および不断の努力が払われるとともに、ENVIRON とクライアントの間で同意されたサービスや契約条件が考慮された。この報告書は、クライアントに対して機密事項であり、いかなる第三者に対しても、あるいは、内容のどの部分に関しても、それが知られた場合に、事前に ENVIRON による正式な同意がある場合を除き、ENVIRON は責任を負わないことを認める。いかなる関係者も、自己のリスク負担で報告書を取り扱う。

ENVIRON は、サービスの契約範囲を超える問題については、クライアントおよびその他の者に対する、いかなる責任も拒否する。

バージョン管理記録				
版	説明	日付	評価者 イニシャル	作成者 イニシャル
A	ドラフト第1版	19/10/11	EG	CMH
B	ドラフト第2版	20/10/11	EG	CMH
1	クライアント向けドラフト版	21/10/11	JH	CMH
2	最終報告書	21/12/11	JH/EG	CMH

## 略語一覧

CRI	掘屑還元井
HSEMS	健康・安全・環境管理システム
HSESAP	健康・安全・環境および社会活動計画
HUET	ヘリコプター水中脱出訓練
IEC	独立環境コンサルタント
LRQA	ロイドレジスタークオリティアシュアランス
OIM	海上設置管理者
PPE	個人防護具
PTW	作業許可
Sakhalin Energy	サハリンエナジー社
STP	汚水処理施設

## 概要

ENVIRON UK Ltd（以下、ENVIRON）は、サハリンIIフェーズ2プロジェクト（以下、プロジェクト）のレンダーに代わり業務を行っている独立環境コンサルタント（IEC）である。業務契約の下、ENVIRONとファイナンス関係者の代表はプロジェクトへの定期モニタリング視察と監査を実施した。この報告書は、2011年9月に、ENVIRONのクリス・ハリウェルによって実施された、サハリンエナジーのピルトン-アストフスコエB生産プラットフォーム（以下、プラットフォーム、またはPA-B）の環境監査の調査結果である。環境監査は、サハリンエナジーが、環境に関する法律や同社の健康安全環境社会活動計画（HSESAP）に従っているかどうかについて評価する。監査人は、監査にご協力いただいた被監査者に感謝する。

全体的に見て、ENVIRONは、PA-Bの環境面での役割遂行は非常に良好であり、その管理者、プラットフォームの労働者、プラットフォームにおける労働習慣は、強い健康安全環境（HSE）の文化を示していると認められる。監査の過程で、監査者は管理システム、特に、廃棄物、有害物質、排気、排水、非常時対応の管理に焦点を当てた。下記を除き、環境法及びHSESAP要件の準拠レベルは良好である：

- コンプレッサー及び発電機からの排ガス用煙突に設置された計器測定の不調。
- 文書化されたPA-Bにおけるフレアリング方針が利用できないこと、また無煙フレアリングが常には達成できていないという事実。
- 作業場大気品質モニタリングのHSESAP要件と、実際にモニターされているパラメーター/位置に相違がある。
- 2011年時の廃水品質モニタリングの結果が、アンモニア態窒素、亜硝酸塩、フェノール類のレベル超過を示している。
- 海水および堆積物分析にHSESAPで指定されている全てのパラメーターが含まれてはいない。
- 廃棄物の発生量を許容制限内とし、優れた管理規範を満たすために、廃棄物の最小化について更なる努力の余地がある。
- 幾つかの有害物質の二次封じ込めが、HSESAPの仕様と一致していない。
- ラベル付けされていない化学物質ドラム缶や、二次封じ込め処理がされていないドラム缶が幾つか観察された。
- プラットフォームに保管されている化学物質の量が、化学物質保管施設の許容量を超えている。
- HSESAPで要求されているにもかかわらず、DTPワクチン（ジフテリア、百日咳、破傷風の三種混合ワクチン）は現在必須ではない。
- プラットフォームにおいて、サハリンエナジーの正式な苦情処理の仕組みについての認識が貧弱であった。

加えて、この報告書には、下記を含む、実行性能改善のための幾つかの推奨が取り上げられている：

- サハリンエナジーは、サハリンエナジーと請負業者の作業員が、足の保護のために安全ブーツを履くことを義務付けるよう検討すべきである。
- 2012年、付随ガスのフレアリング許容量規制のための法令が発効される。新しい法令では、最大許容量は付随ガスの5%で、現在のところ、サハリンエナジーはこの制限を

超えている。サハリンエナジーのフレアリングにかかる方針は、2009年1月8日付のロシア連邦法令#7で規定されている、新しいロシア政府の要求事項に適合するため、変更が必要となるであろう。